

## #5 石・救い主としてのキリストは、 神の建造のための生ける石を生み出す

(国際長老責任者訓練)2018/12/10-12/16

**I. 使徒第4章10節から12節で私たちが見るのは、キリストが隅の石としてユダヤ人指導者たち、家を建てる者たちによってさげすまれ、十字架につけられたが、神によって死人の中から復活させられ、神の建造の隅の石となり、神の救いがただ彼の中にだけあるということです。**

使徒 4:10 あなたがた一同も、イスラエルのすべての民も知っていただきたい。あなたがたが十字架につけ、神が死人の中から復活させたナザレ人イエス・キリストの御名の中で、この名の中で、この人が、あなたがたの前に健やかになって立っているのです。

11 この方は、あなたがた、家を建てる者たちに捨てられ、隅のかしらになった石です。

12 この方のほかに、救いはありません。私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです。

**II. 詩篇第118篇は、キリストが神の建造のための隅の石であることについて語っています：**

**A. 「家を建てる者たちの捨てた石が、隅のかしら石になった」(詩118:22)：**

詩118:23 これはエホバからのことであって、私たちの目には不思議である。

24 これは、エホバが設けられた日である。私たちは喜び躍り、それを喜び楽しもう。

①主イエスはマタイ第21章42節でこの節を引用し、彼が神の建造のための石であることを示していました。

②キリストは隅の石であり、新約時代に召会を建造するためです。

③マタイ第21章42節の主の言葉から、主が神に尊ばれた尊い石であることを、ペテロは知るようになりました。

**B. 主イエスは復活の日に、神によって隅の石とされました：**

①キリストは過去の永遠において神に選ばれ、神の霊的な建造のために隅の石となりました。

**I** ペテロ1:20 その方は、世の基の置かれる前から、あらかじめ知られていましたが、時代の終わりに、あなたがたのために現されました。

②家を建てる者としてのユダヤ人指導者たちは彼を極みまで拒絶し、彼を十字架につけるまでになりました。

③神はキリストの復活において、二度目にキリストを隅の石として選び、それによって彼が過去の永遠においてキリストを最初に選んだことを確認しました。

④神はキリストを復活させた後、彼を天に引き上げました：

**a.** 天のシオンへのキリストの昇天は、神が彼を選んで隅の石としたことのさらに進んだ確認です。

イザヤ28:16 それゆえ、主エホバはこう言われる、「見よ、私はシオンに一つの石を礎として据える。これは試みられた石、堅く据えられた礎としての、尊

い隅の石である。信じる者はあわてることがない。

**b.** キリストの復活と昇天がいずれも証明し、確認しているのは、彼が神によって選ばれて神の建造のための隅のかしら石とされた方であるということです。【月】

**C.** キリストはすべてを含む石として、神の永遠の住まいを建造するための神の行動の中心です：

マタイ21:42 イエスは彼らに言われた、「あなたがたは聖書で読んだことがないのか？ 『家を建てる者たちの捨てた石、これが隅のかしら石になった。これは主がなされたことであって、私たちの目には驚くべきことである』。

エペソ2:19 そこであなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者、神の家族の者であり、て、霊の中にある神の住まいへと至るのです。20 そして、使徒たちと預言者たちの土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身が、その隅の石です。

①キリストであるすべて、彼が行なったすべて、彼が行ないつつあるすべては、彼が隅の石であるという事実によります。

②彼は隅の石であることによって、私たちのために死ぬことができました。それは、私たちが彼と共に十字架につけられ、彼と共に生かされ、彼と共に復活させられ、彼と共に天上で座らせられることができるためであり、また彼が私たちを救い、私たちが造り変えて宝石とし、私たちが共に建造して神の住まい、宇宙における神の唯一の宮とすることができるためです。

【火】

**III. ペテロは使徒第4章10節から12節で、キリストが石・救い主であると告知知らせました：**

使徒4:11 この方は、あなたがた、家を建てる者たちに捨てられ、隅のかしらになった石です。

12 この方のほかに、救いはありません。私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです。

**A.** ペテロが詩篇第118篇を引用したことが示すのは、彼がキリストを罪人の救いのための救い主として宣べ伝えただけでなく、また神の建造のための石としても宣べ伝えたということです：

①そのようなキリストが、罪人に対する唯一の救い主です。

②天の下での唯一の御名、ユダヤ人指導者たちによってさげすまれ拒絶されたが神によって尊ばれた彼の御名の中で、罪人は必ず救われて、罪から離れるだけでなく、また神の建造にあずかります。

ピリピ2:9 それゆえに、神もまた、彼を高く引き上げ、そして、あらゆる名にまさる名を彼に与えられました。

10 それは、天にあるもの、地上にあるもの、地下にあるものが、イエスの御名の中で、すべてひざをかがめるためであり、

マタイ1:21 彼女は男の子を産みます。あなたは彼の名をイエスと呼びなさい。彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです。

**B.** キリストは聖なる方、義なる方、命の創始者、しもべであるだけでなく、神の建造のための石でもあります：

①この石は、私たちが救われることができる唯一の方です。

②キリストは石・救い主です。彼は石・救い主として、堅固で、強く、信頼できます。

③私たちはイエスの御名の中でのみ救われることができ、イエスは石です。これは、私たちが石・救い主を持っていることを意味します。

**C.** 神がキリストの中で来て肉体と成り、石となったのは、神の宇宙的な住まいを建造するためです：

①初めに、キリストは普通の石であり、ユダヤ人指導者たちは彼を殺すことによって、彼を拒絶しました。

②神は彼を尊んで、死人の中から復活させ、建物の壁を結び付ける隅の石、卓越した石としました。

③キリストは神の住まいの隅の石として、ユダヤ人信者の壁と異邦人信者の壁を結び付けます。【水】

#### IV. 石・救い主としてのキリストは、神の建造、神の霊の家のために生ける石を生み出しつつあります：

I ペテロ2:6 なぜなら、聖書にこう書かれているからです。「見よ、私はシオンに、選ばれた尊い隅の石を据える。彼に信頼する者は、決して辱められることがない」。7 こういうわけで、信じるあなたがたには尊いものですが、信じない者には、「家を建てる者たちの捨てた石、これが隅のかしらになった」とあり、8 また、「つまずきの石、妨げの岩」とあります。彼らが御言につまずくのは、従わないからであって、またそうなるように定められていたのです。

**A.** 信者としての私たちに対して、復活したキリストは増殖させる石、また建造する石です：

①まず、私たちは彼の増殖となりました。今や彼は私たちを共に建造して、神の住まいとならせつつあります。

②キリストは神のエコノミーにおける石・救い主として、神の建造のための建造する方であり、また材料でもあります。

マタイ 16:18 そこで私もあなたに言う。あなたはペテロである。私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。【木】

**B.** ペテロはヨハネ第1章42節とマタイ第16章18節における主の語りかけを通して、キリストと信者たちの両方が神の建造のための生ける石であるという啓示を受け、そして最終的に、神の目標が生ける石をもって霊の家を建造することであることを認識しました：

ヨハネ1:42 そして彼をイエスの所に連れて行った。イエスは彼を見て言われた、「あなたはヨハネの子シモンである。あなたをケパ(訳せばペテロを意味する)と呼ぶことにする」。

I ペテロ2:4 人には捨てられたが、神には選ばれた尊い生ける石である主に来て、5 あなたがた自身も生ける石として、霊の家に建造されていきながら、聖なる祭司の体系となって、イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげなさい。

① I ペテロ2章4節は、キリストが生ける石であることについて語っています：

**a.** 生ける石は、命を所有しているだけでなく、命において成長します。この生ける石は、神の建造のためのキリストです。

**b.** 私たちの命として、キリストは種です。神の建造のために、彼は石です。

**c.** 私たちは彼を命の種として受けた後、成長して、彼を私たちの中に生きている石として経験する必要があります。

I ペテロ1:23 あなたがたが再生されたのは、朽る種からではなく、朽ちない種から、すなわち、生きていて存続する、神の言によるのです。

2:2 生まれたばかりの赤子のように、悪巧みのない言葉の乳を切に慕い求めなさい。それによって、あなたがたが成長して救いへと至るためです。

**d.** 彼はこのようにして私たちを、彼の神聖な性質をもって造り変えられる生ける石とします。それは、私たちが他の人たちと共に、土台と隅の石の両方である彼の上で、霊の家に建造されるためです。

②私たちは信者として、キリストの中で、キリストを通して生ける石となり、霊の家に建造されます：

**a.** 私たちが生ける石であるのは、再生と造り変えを通してです。

ヨハネ3:6 肉から生まれるのは肉であり、その霊から生まれるのは霊である。

II コリント3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

**b.** 私たちは土くれから創造されましたが、再生の時に命の種を受けました。その種は私たちの中で成長することによって、私たちを造り変え、生ける石とします。【金】

③私たちが建造されつつある霊の家は、神の建造です：

エペソ2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

**a.** 最終的に、この建造は、石の都である新エルサレムにおいて究極的に完成します。

**b.** 私たちは宝石となりつつあり、この宝石は新エルサレムの中へと建造されます。

**c.** 私たちが日ごとに神の建造のための生ける石であるキリストと接触し、造り変えられるとき、この過程が起こります。

ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。【土】

## 経験①: キリストを隅の石として経験する

主イエスは彼の復活の日に、神によって隅の石とされました。キリストは過去の永遠において神に選ばれ、神の霊的な建造のために隅の石となりました。次に、家を建てる者としてのユダヤ人指導者たちは彼を極みまで拒絶し、彼を十字架につけるまでになりました。神はキリストの復活において、二度目にキリストを隅の石として選び、それによって彼が過去の永遠においてキリストを最初に選んだことを確認しました。神はキリストを復活させた後、彼を天に引き上げました。天のシオンへのキリストの昇天は、神が彼を選んで隅の石としたことのさらに進んだ確証です。キリストの復活と昇天がいずれも証明し、確認しているのは、彼が神によって選ばれて神の建造のための隅のかしら石とされた方であるということです。

### 中高生/大学生編

エペソ 2:20 そして、使徒たちと預言者たちの土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身が、その隅の石です。21 その方の中で、建物全体が共に組み合わせられ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

FN「隅の石」:ここでは、キリストは土台としてではなく、隅の石として述べられています。なぜなら、ここでのおもな関心は、土台ではなく、隅の石であるからです。それは、二つの壁を結び付けます。一つの壁はユダヤ人信者であり、もう一つの壁は異邦人信者です。…ユダヤ人建築者たちがキリストを捨てた時、彼らは隅の石としての彼を捨てたのです。彼は、異邦人をユダヤ人と結び付けて、神の家を建造される方です。

隅の石としてのキリストは、ユダヤ人と異邦人、すなわち、異なった人々を建造のために結び付けます。あなたは召会生活の中で気の合った人とだけ交わっているはいけません。これは建造ではありません。隅の石としてのキリストはあなたを異なった人と結びつけ、建造へと至らせるのです。

祈り: おお主イエスよ、あなたは建造のための隅の石です。この石は、私と個性や機能の異なる人とを結び付けます。私が天然の命を否み、キリストを命とし、他の異なった人と共に建造されますように。アーメン!

## 経験②: 私たちを救い得る唯一の御名: イエスの御名

使徒行伝第4章12節は言います、「この方のほかに、救いはありません。私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです」。この節はしばしば福音の宣べ伝えに用いられます。しかしあなたはかつて、それが11節との関連で用いられているのを聞いたことがあるでしょうか? 使徒行伝第4章11節は言います、「この方は、あなたがた、家を建てる者たちに捨てられ、隅のかしらになった石です」。これらの節は、11節の石が救い主であることを示します。家を建てる者たちに捨てられた石は、隅のかしらになった石とされました。救いは他のどの名にもありません。私たちはイエスの御名の中でのみ救われることができ、イエスは石です。これは、私たちが石・救い主を持っていることを意味します。四福音書にはマタイによる福音書に王・救い主、

マルコによる福音書に奴隷・救い主、ルカによる福音書に人・救い主、ヨハネによる福音書に神・救い主があります。今や使徒行伝には石・救い主があります。私たちの救い主は、王、奴隷、人、神であるだけでなく、彼はまた神の建造のための石でもあります。

### 新人編

マタイ 1:21 彼女は男の子を生みます。あなたは彼の名をイエスと呼びなさい。彼は自分の民を、彼らの罪から救うからです」。

FN「イエス」:「エホバ救い主」、あるいは「エホバの救い」を意味します。ですから、イエスは単に人であるだけでなく、エホバです。また単にエホバであるだけでなく、私たちの救いとなられるエホバです。ですから、彼は私たちの救い主です。

ローマ 10:9 すなわち、あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます。10 なぜなら、人は心で信じて義とされ、口で告白して救われるからです。11 聖書は、「すべて彼に信頼する者は、辱められることがない」と言っています。

12 ユダヤ人とギリシャ人の区別はありません。同じ主が、すべての者の主であって、彼を呼び求めるすべての者に、彼は豊かです。13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」からです。

FN「主の御名を呼び求める」: 私たちが救われる秘訣であるだけでなく、主の豊富を享受する秘訣でもあります。人類の第三代目のエノスに始まり、新約の信者たちに至るまで、神に選ばれ、贖われた人たちは、この秘訣によって、キリストの贖い、救い、彼の豊富すべてを享受しました。

FN「救われる」: この救われるとは、主の豊富の享受へもたらされることです。主はユダヤ人にもギリシャ人にも豊かです。主の御名を呼び求めるすべての人は、この豊富な主を享受します。その結果、彼らは彼で満たされ、彼を表現します。

ピリピ 2:9 それゆえに、神もまた、彼を高く引き上げ、そして、あらゆる名にまさる名を彼に与えられました。10 それは、天にあるもの、地上にあるもの、地下にあるものが、イエスの御名の中で、すべてひざをかかめるためであり、11 そしてあらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と公に言い表して、父なる神の栄光となるためです。

高校生の兄弟の証し: 仲違いしていたクラスメイトと偶然電車で会った時、関係を改善したいと思い話し掛けました。いつもは固い性格の彼が、話しているうちに柔らかくなり、互いに会話を楽しむことができました。その後、この祝福は主からであることに気が付き、主の御名を呼び、主に感謝し主に栄光を帰すことができました。あらゆる祝福は主からくるので、祝福されたらすぐに主に感謝することを最近訓練しています。

在職青年姉妹の証し: 大変忙しい職場で、混乱してしまい、感情的になってしまいます。このような時に冷静な思いになるために、主の御名を何度も呼びました。そうすることによって、冷静な思いをもって、優先順位を付け、正しく上司に相談することができるよう

になりました。主の御名を賛美します。

Ⅱ テモテ 1:7 というのは、神が私たちに賜ったのは、臆する霊ではなく、力と、愛と、冷静な思いとの霊であるからです。

祈り: 主イエスの御名を賛美します。この御名は私たちを救い得る唯一の御名です。またこの御名を呼ぶ者に主は豊かに供給して下さいます。主の御名を呼べば私の霊と心は豊かになります。おお主イエスよ、毎朝あなたの御名を呼ぶことで一日を開始し、一日中、主の御名を呼び、主の豊富にあずかることができますように。

詩歌 169 主を賛美する - 彼に満足する (英 208)

- 1 イエスはわがいのち、なが愛の一ゆえ、  
ひと日に一せんかい、御名をさ一けばん。  
(復) イエス、さい愛の主にくらぶるものなし;  
なれのえがお見て、われよろ一こばん。

### 経験③: キリストを石・救い主として経験する

私たちはみな、個人的に一人で神に仕えることはできないことを、認識しなければなりません。私たちは他の人たちとの組み合わせの中で仕えなければなりません。一つの石は決して家になることができません。それは建造物となるために、他の石と共に建造されなければなりません。個人のクリスチャンが祭司の体系を構成することは不可能です。厳密に言って、これが意味するのは、建造がなければ、神に対する真の奉仕がないということです。私たちは共に建造されてはじめて、正当な奉仕を神にささげることができるのです。神に対する真の奉仕は、建造の事柄です。

奉仕は常に建造に続きます。幕屋がなければ、仕える祭司はあり得ませんでした。私たちはクリスチャンとして、個人の人ですが、個人主義的なクリスチャンであることはできません。私たちは他の人たちから孤立して主に仕えることはできません。個々の祭司は、他のすべての祭司と組み合わせられなければなりません。正当な召会生活から離れて、他の人たちと建造されることから離れて主に仕えようとするのは、恐ろしいことです。私たちは祭司の体系として共に建造され、建造の中で、すなわち召会の中で、組み合わせられた方法で神に仕えなければなりません。私たちが言葉の乳を切に慕い求めるなら、この乳は私たちの内側を流れる生ける水の水流のようになります。私たちがこの流れの中にとどまるとき、水流は私たちの天然の実質を運び去り、それを天的で神聖な鉱物であるキリストに置き換えます。徐々に、長期にわたって、私たちは造り変えられます。

### 青年在職/大学院生編

主イエスはユダヤ人指導者によって拒絶され十字架に付けられました。しかし神はこのイエスを復活させ、建造のための隅の石としました。

使徒 4:10 あなたがた一同も、イスラエルのすべての民も知っていただきたい。あなたがたが十字架につけ、神が死人の中から復活させたナザレ人イエス・キリストの御名の中で、この名の中で、この人が、あなたがたの前に健やかになって立っているのです。11 この方は、あなたがた、家を建てる者たちに捨てられ、隅

のかしらになった石です。12 この方のほかに、救いはありません。私たちが救われるべき名は、この名のほか、天下のだれにも与えられていないからです」。

FN「隅のかしらになった石」: ペテロはキリストを罪人の救い主としてだけでなく、神の建造のための石として宣べ伝えたことを示します。このようなキリストが、罪人の唯一の救いです。彼の御名は、ユダヤ人指導者によってさげすまれ、退けられましたが、神によって尊ばれ、高く引き上げられました。天下にあって、この唯一の名によって、罪人は必ず救われます。しかも罪から離れるだけでなく、神の建造にもあずかるのです。

主イエスは石・救い主ですので、あなたを罪から救い、そしてあなたを建造にもたらしめます。建造とは、召会生活の中で兄弟姉妹と共に成長することです。共に成長するために、互いに供給し支え合う必要があります。神のエコノミーは、多くの霊的な個人を持つことではありません。神は建造されたからだを欲しておられます。建造されるために、「おのおの自分自身の長所だけでなく、他の人たちの長所にも目をとめ(ピリピ 2:4)」るべきです。あなたは他の肢体を愛し、尊重し、彼らのために祈り、彼らにキリストを供給すべきです。また彼らに自分のために祈ってもらい、彼らから供給を受けるべきです。建造されたからだは、団体的に神を表現し、サタンを恐れさせます。

兄弟の証し: 私には姉が二人いて、幼い時から母親だけでなく二人の姉が自分の面倒をよく見てくれました。例えば私は大学生になって家を出てからも、自分で服を買いに行ったことがほとんどありません。姉たちが買って送ってくれていたからです。このようなことも影響して、私は衣食住に関する生活能力が極めて低く、自分では何もできませんでした。

結婚した後、妻である姉妹によく、「あなたは生活能力が低い」と指摘されています。結婚後は金銭の管理を含め、これらのことについてほとんど完全に姉妹に依存しています。このような助けの下で、私は仕事や召会の奉仕に集中することができています。後で気付いたことですが、欠点のゆえに人に依存することは、必ずしも悪いことではありません(これは私の欠点が造り変えられる必要がないと言う意味ではありません)。からだの中にはさまざまな肢体があり、さまざまな機能があります。自分の長所だけを見るのではなく、他人の長所を評価する必要があります。召会の奉仕の中でも多くの事で他の兄弟姉妹に助けられています。このような助けがなければ正しく機能し、自分の分を果たすことができません。私たちは互いに肢体であり、一つのからだを形成していますので、互いに依存し合い、愛し合い、支え合うことを学ぶことは建造のためにとっても重要です。

祈り: 主イエスよ、あなたは石・救い主です。あなたの御名を呼ぶ時、私は罪から救われるだけでなく、個人主義からも救われ、建造にもたらされます。兄弟姉妹と共に建造されるために、他の肢体を尊重し、彼らを愛し、彼らにキリストを供給し、彼らからキリストを供給してもらいます。神が欲しているのは多くの個人ではなく、建造された団体の新しい人です。建造のために自分自身をささげます。召会生活の中でキリストのからだがますます建造されますように。アーメン!